

## (2) 地域のつながりと支えあい

### ≫ ≫ 誰一人取り残さない地域共生社会の実現

人口減少と高齢化が進む地域社会においては、みんなが近隣に住む人を思いやり、地域とのつながりを意識し、「支える人」「支えられる人」という関係を越えて、一人ひとりが自分のこととしてとらえ、参加してつながる、誰一人取り残さない「地域共生社会」を実現することが必要です。

### ≫ ≫ 地域共生社会を実現するには

今後のまちづくりを担う若者が「地域共生社会」の重要な役割を担っていくようになるため、地域ぐるみで子どもを育て、教育について考えていきましょう。地域には元気な高齢者をはじめ、たくさんの「人財」があります。子ども、若者から働く世代、高齢者まで、誰もが地域でのつながりを意識し、愛着を持ち、さらに当事者意識を持つことが必要であり、その上で、みんなが少しずつ役割を担うことで、持続できる「地域包括ケア」のしくみとなります。そのためにも、生涯学習・生涯スポーツに積極的に参加し、健康管理に努めるとともに地域のつながりをつくっていきましょう。

これらのことを踏まえ、私たちは次のとおり目標を定めます。



### 基本目標2

## 地域でつながり、支えあうしくみをつくろう

### ≫ ≫ 地域ぐるみで行う切れ目ない子育てと教育

安心して子どもを産み育てられるよう子育て支援対策を推進するとともに、地域ぐるみの子育て環境の醸成を図ります。さらに、核家族、共働き世帯が増え続ける中で家庭の養育力、教育力を支えるため、相談・支援体制の構築を図ります。

元気で心豊かな人が育つまちを目指し、高速大容量のICTなどを活用した学校教育の充実と努めるとともに、地域とともにある学校づくりを進めながら、家庭、学校、地域社会が連携し、豊かで健全な人間性や社会性を身につけた子どもを育成していくことを目指します。

### ≫ ≫ 様々なアプローチによる地域での支えあい

住民が健康に暮らせるよう、一人ひとりが健康意識を高め、病気や寝たきりなどになりにくい生活を支援するための保健、介護予防対策を進めます。災害時や感染症対策などを見据えた地域医療体制の充実を図り、住み慣れた地域の中で、いつまでも健康で暮らせるよう、互いに助けあい、支えあう地域社会を目指します。

また、生涯学習や生涯スポーツにより、人材の好循環を生み出しながら、プログラム、指導者を強化し、有効活用することで学習やスポーツを積極的に行える環境の充実と努めます。さらに、異世代や様々な人々との交流により地域のつながりを高め、地域での支えあいにつなげます。

### ≫ ≫ 地域福祉の推進

地域包括ケア体制の確立と地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推進し、生活困窮、差別がない社会を目指します。人権尊重は時には命を守ることにもつながるため、社会的支援が必要な方の権利擁護に努めるとともに、性、年齢、国籍、疾病やハンディキャップなどを問わず多様性を認めあい、いつも笑顔で暮らせるよう差別を解消し、人権を尊重する社会づくりを進めます。